

授業科目	社会的養護Ⅱ（2年制コース）					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	笠 修彰						
授業概要	社会的養護を必要とする子どもについて学びを深め、社会的養護の現状と課題を理解する。また、施設養護および家庭養護の様々な事例を通して、具体的な子どもの生活や援助、家庭支援の方法について学習する。さらには、社会的養護における計画、記録、自己評価の実際について学び、その重要性についての理解を深めたい。						
授業形態	対面授業			授業 方法	グループワークやディスカッションを実施する		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解することができる。 2. 施設養護および家庭養護の実際について理解することができる。 3. 社会的養護における計画、記録、自己評価の実際について理解することができる。 4. 社会的養護にかかるソーシャルワークの方法、技術について理解することができる。 5. 社会的養護における児童虐待の防止と家庭支援について理解することができる。 6. 援助者としての倫理・人間性と専門性の向上に努めることを学び理解することができる。
理想的レベル	標準レベルに加え、援助を行う上で援助者に必要となる人間性や倫理観、また専門性の向上について自らも培っていこうとする態度や姿勢を持つことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	40%	授業で作成したノート
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21321J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

配布資料や授業で作成したノートをもとに学んだことを振り返るとともに、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	1
--	---

授業計画

第1回	テーマ：オリエンテーション 授業概要のオリエンテーション。社会的養護の現状、子どもと家庭を取り巻く社会環境の変化について学習する。
第2回	テーマ：施設養護の実際 1 乳児院、母子生活支援施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。
第3回	テーマ：施設養護の実際 2 児童養護施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。

第4回	テーマ：施設養護の実際 3 児童自立支援施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。
第5回	テーマ：施設養護の実際 4 児童心理治療施設、障害児入所施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。
第6回	テーマ：施設養護の実際 5 自立援助ホームにおける事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。
第7回	テーマ：家庭養護の実際 里親家庭における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。
第8回	テーマ：社会的養護における支援の計画 個々の子どもに応じた自立支援計画、養護計画の作成と留意点について学習する。
第9回	テーマ：記録および自己評価 援助におけるアセスメントと記録の方法について学習する。
第10回	テーマ：被虐待児への支援 被虐待児への支援の実際を学び、演習課題について討議する。
第11回	テーマ：社会的養護における専門機関の連携 児童相談所をはじめとする様々なネットワークの実際を学び、連携のあり方等について討議する。
第12回	テーマ：社会的養護における家庭支援 施設と関係機関との連携、協働による子どもと家庭への支援のあり方について討議する。
第13回	テーマ：地域ネットワークの形成 児童相談所、各校、幼稚園、保育所、病院、福祉事務所など地域のネットワークづくりを考察する。
第14回	テーマ：さまざまな職種間のチームワーク ソーシャルワーカー、心理士、家庭支援専門相談員、看護師など他職種連携の重要性について考察する。
第15回	テーマ：まとめ 本科目での学びを振り返り、総括する。
テキスト	特に使用しません。適宜関連資料を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中野美穂子・東俊一編『社会的養護Ⅰ・Ⅱ 社会的養護の理念と実践』(株)みらい 伊達悦子・辰己隆編『保育士をめざす人の社会的養護』(株)みらい その他参考図書については、授業のなかで紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	「子ども家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」に深く関連しているので、復習しておきましょう。 本科目は、主に演習形式で展開していくため、授業参加にあたっては自主性、主体性をもって積極的に取り組む姿勢が必要となります。 授業に臨むにあたり、予習、復習を心がけましょう。また、日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、保育を取り巻く現状に実践的関心を持ちましょう。